

2023 年度（令和 5 年度）

事業報告

一般社団法人京都市ひとり親家庭福祉連合会

一般社団法人京都市ひとり親家庭福祉連合会

一般社団法人京都市ひとり親家庭福祉連合会 令和5年度(2023年)事業報告(年間)

【法人概要】

当法人は戦後間もない昭和25年、配偶者を戦争で失った母子家庭の母が集まり、戦後の混乱期における母子家庭の地位や権利の向上を目的として活動を開始したことから始まる。京都市在住の母子家庭の母を中心とする当事者による福祉団体として、昭和57年には社団法人、平成25年8月に一般社団法人へ移行。令和3年2月には、「一般社団法人京都市ひとり親家庭福祉連合会」へと法人名称変更を行った。

母子寡婦福祉からひとり親家庭福祉へ移行した経緯として、平成22年(2010年)8月、児童扶養手当の支給対象に父子家庭が加えられ、平成26年(2014年)には、根拠法である「母子及び寡婦福祉法」が「母子及び父子並びに寡婦福祉法」へと名称変更が図られたことがある。以来、国及び行政の施策においては、父子家庭を含めた「ひとり親家庭支援」が母子福祉に代わり位置づけられることとなったため、当法人においても、ひとり親家庭支援を明確に打ち出すこととした。

京都市の福祉施策事業において、連合会では昭和59年2月「京都市母子福祉センター米岡荘」の運営管理を受託したことを皮切りに、平成16年4月京都市母子家庭等就業・自立支援センター事業を受託。平成21年4月に現在の北山ふれあいセンターに移転後、平成24年4月「京都市ひとり親家庭支援センター」に名称変更。その後、「ゆめあす」の名称で京都市のひとり親家庭支援の中核施設として、連合会が管理・運営に携わっている。

児童館事業については、平成7年、伏見住吉地域の住民によって運営されていた「京都市住吉児童館」の管理・運営事業を委譲されたのを皮切りに、平成21年4月、京都市左京区北山ふれあいセンター新築に伴い、「京都市母子福祉センター(現京都市ひとり親家庭支援センター)」に併設される形で「京都市葵児童館」が新設された。全国でもめずらしい母子福祉と児童福祉施設の合築施設として連合会が指定管理事業者として、運営・管理を担うこととなった。また、平成22年には、伏見下鳥羽地区の民設民営児童館「下鳥羽児童館」が法人傘下に入り、続いて令和3年度には岩倉南児童館の指定管理事業者として選定され、4館体制となった。なお、平成22年より、旧京都市母子福祉センター米岡荘1階において、乳幼児親子の交流施設「京都市子育て支援活動いきいきセンターつどいの広場」も受託運営しており、ひとり親家庭福祉及び児童福祉分野において積極的な事業展開を行っている。

○法人理念

私たちは、ひとり親家庭をはじめとして、すべての子どもと親の幸せを願い、家族のかたちにとらわれることなく「その人らしく、豊かで充実した生き方」ができる社会の実現を目指します。一人ひとりの暮らしが安心と希望に支えられ、いきいきと充実した毎日が送れるよう全力で支援します。

○基本方針

1. ひとり親家庭福祉及び児童福祉の推進

ひとり親家庭等が安心して生活し、自立するための支援の充実を図り、貧困の連鎖の解消を目指します。また、すべての児童が、心身ともに健やかに育てられ、人として尊ばれる社会の実現を願い、ひとり親家庭福祉及び児童福祉の向上のために熱意と英知を尽くして取り組みます。

2. 基本的人権と自由意思の尊重

基本的人権と個人の尊厳を守り、心身ともに平和で健やかな生活を形成し、その有する能力に応じて自立した生活を地域社会において営むことができるよう、常に誠実であたたかい支援を実践します。

3. 利用者本位の福祉サービスの提供

福祉事業運営にあたっては、利用者やそのご家族との信頼関係を構築し、職員一人ひとりが利用者の希望や思いを真摯に受け止め、常に福祉サービスの質の向上に努め、自己研鑽と実践への向上心をもって事業に取り組みます。

4. 地域社会への貢献

ひとり親家庭福祉連合会会員活動及びひとり親家庭福祉並びに児童福祉事業においては、地域住民や関係団体との連携・交流に努め、信頼される福祉団体として、蓄積した経験・知識を地域に還元し、地域社会の発展と福祉の向上に積極的に寄与・貢献します。

【2023 年度事業活動報告トピック】

○支援団体との連携・協力

各種支援団体様・企業様との連携を深め、ご支援いただくことができた。洛和会ヘルスケアシステム様からは福祉大会の時期に合わせて、努力義務化された「自転車用ヘルメット 100 個」の寄贈を受け、日本ケイテム様からは「新入学生用ランドセル 7 個」を贈られた。また、恒例の西村診療所様「無料人間ドック 20 名招待」や王将フードサービス「お弁当 130 食ご提供」、わかさ生活様からは「製品 4 種 40 名様分」に加えてキャラクターの来館、京都キワニスクラブ様からは「こども料理教室 37 名ご招待」、西京区クリスマス回にはコープ自然派様から「食料品 2 万円相当」、個人のご寄付では、フードパントリーにおいて、各児童館からの食料ご寄附、K 様から「食料品 10 万円相当」など、各種団体・企業様、個人様からのご支援・ご協力により様々な支援活動を行うことができた。

※詳細は以下、別紙活動報告書に記載。

○ひとり親家庭福祉事業・児童福祉事業の展開

「ひとり親家庭福祉」及び「児童福祉」にかかる事業の指定管理・委託事業を事業運営

の2本柱として、常に法人の運営透明性を高め、公的福祉事業を担う重責をよく認識し、事業の課題について検討・改善を推し進め、適正かつ効率的に運営を行うよう務めることを引き続き基本目標とした。「京都市ひとり親家庭支援センターゆめあす」「住吉、葵、下鳥羽、岩倉南の児童館4館」の管理・運営、つどいの広場「ほっこりはあと出町」の運営などを通じて、地域に根ざしたきめ細やかな支援を行い、ひとり親家庭への支援及び子どもの権利と安全を守り、その自立と成長を支援する活動に注力した。実施にあたり、京都市、関係各団体をはじめとする機関との連携を深め、地域の住民の皆様との相互理解に基づく良好な関係の構築を実現し、地域に貢献する事業運営を推進した。

【法人組織運営体制についての重点課題】

令和2年度に「2020組織改革(案)」をベースとして、法人名称の変更、内部ガバナンス体制の見直し等に着手した。定期的開催の理事を中心とした委員会形式による会議により改革議論を深め、法人の持つ課題を明確化し、PDCAサイクルによる改善策実行を推進した。令和5年度からは5カ年計画による「中長期計画」を策定し、3年から5年のスパンにおける法人の中長期の課題に向けての体制構築に着手した。

■事業部活動報告

1 法人定例総会の開催

月 日 令和5年5月31日(水)
場 所 京都市ひとり親家庭支援センターゆめあす 2F
出席者 正会員 26名
内 容 令和4年度事業報告並びに決算報告、理事役員改選について 全会一致で議決

2 母子寡婦福祉大会

【近畿地区母子寡婦福祉大会】

目 的 近畿ブロック会員の研修と相互交流を図り母子寡婦福祉の一層の向上をめざす。
月 日 令和5年10月15日(日)
場 所 兵庫県民会館けんみんホール
主 催 全国母子寡婦福祉団体協議会、近畿地区ブロック、兵庫県婦人共励会

【京都市ひとり親家庭母子寡婦福祉大会】

目 的 京都市内会員の研修と相互交流を図りひとり親家庭福祉の一層の向上をめざす。
月 日 令和5年12月3日(日)
場 所 ハートピア京都3F 大会議室
後 援 京都市、京都市社会福祉協議会、京都新聞社会福祉事業団(後援・助成)
協 賛 株式会社堀内八郎兵衛
内 容 感謝状贈呈式((株)千總、洛和会ヘルスケアシステム、日本ケイテム) / 前半式典(ご来賓挨拶、活動発表等)、後半・記念講演(京都市動物園副園長)

3 各部会活動

(1) 法人物販事業

①お手玉販売、手作り小物販売

会の事業費に資するとともに、会員が集まり、お手玉やポーチなどの小物を共同して手作りするなかで、交流を深めることを目的とする。

(2) 母子部事業

①定例部会の開催

母子部長・副部長を中心に会員有志が参加する会議を原則毎月第2日曜日に開催。

②各事業内容

○ランチ交流会「母子家庭会員の交流と子育て情報交換会」

●月日 令和5年6月11日(日)

●場所 「鎌倉パスタ」京都ヨドバシ店(京都駅前 ヨドバシビル6階)

●内容 子育てが一段落した母親を対象として企画。食事をしながら同じ世代の子をもつ者同士で、気軽に交流の場として楽しむことができた。子どもが大きくなると参加できるイベントが少ないとの声も鑑み、今後も同様の企画を立てていく予定。

●申込 7名

●参加 6名

○プログラミング講座

●月日 令和5年5月～7月／8月～9月

●場所 京都市ひとり親家庭支援センターゆめあす

●内容 情報系の元大学教授を講師に開催。義務教育へのプログラミング学習導入に伴い、ひとり親家庭の子どもたちの学習機会を増やすことを目的に開催。

●参加 4名／3名

○布用クレヨンでエコバック作り&おばあちゃんの手作りお弁当

●月日 令和5年6月17日(土)

●場所 山科青少年活動センター

●内容 物価上昇への対応に苦慮する育ち盛りの子を持つ家庭を対象に昨年度に続き食料支援を行った。コロナ対応が少しずつ緩和されたことを受けて手作りのお弁当配付と、簡単な工作をして夏の楽しい1日として夏休みの宿題や親子の思い出作りとして企画。

●申込 11組25名

●参加 9組20名

○おやこで夏を楽しもう！ボーリングとバーベキュー

●月日 令和5年7月23日(日)

●場所 上賀茂グランピングパーク

●内容 夏休みに親子だけでは出かけにくいことから例年の日帰りバス旅行の代替として企画。ボーリングも幼児向けのものが準備されており、幅広い年代の子

どもたちが参加し楽しんだ。

●申込 11組22名

●参加 10組21名

○はにわ作り体験（山科区主催）

●月日 令和5年8月6日（日）

●場所 山科青少年活動センター

●内容 夏休みの学習会として地元の郷土史家を講師に埴輪の歴史を学び、参加者が埴輪を自作し持ち帰った。

●申込 10組21名

●参加 6組13名

○いも掘り体験会（山科区主催）

●月日 令和5年10月29日（日）

●場所 山科区篤志家敷地

●参加 12名

○柿狩り（中京区主催）

●月日 令和5年11月12日（日）

●場所 千弥農園

●参加 14名

○クリスマス会（西京区主催）

●月日 令和5年12月10日（日）

●場所 京都市交流促進まちづくりプラザ 多目的室

●内容 コロナ禍以降、閉塞しがちな地域の人々との交流を通じて、人と人の絆の大切さを再認識する機会として実施。ひとり親家庭を対象とした学習会「ゆう」の参加者やボランティア・保護者のほか、地域の方々も参加された。みんなと一緒にカレー作りとケーキのデコレーションを行った。午後は地域の遊び隊（ボランティア団体）による遊びで楽しんだ。

●参加 28名

○親子で楽しむクリスマス会

●月日 令和5年12月24日（日）

●場所 京都市ひとり親家庭支援センターゆめあす

●内容 幼児から高校生までの親子が、クリスマスにちなんだ音楽の生演奏をきき、大谷大学児童文化研究会の学生によるパネルシアターを楽しんだ。飾り付けたツリーやサンタクロースの扮装をした人がいたことで、子どもたちにクリスマス気分を味わってもらうことができた。子ども対象ビンゴゲームでは、自分で好きなプレゼントを選ぶことができたので、より一層満足感が得られたようであった。

●申込 19組45名

●参加 12組27名

○嵯峨嵐山文華館「百人一首の歴史や魅力を知ろう！」

●月日 令和6年3月17日（日）

- 場所 嵯峨嵐山文華館
- 内容 誰もが一度は遊んだことのある百人一首について、その歴史や魅力を知り、京都にちなんだ芸術・文化について学ぶ機会として実施。現在NHKで放映中の大河ドラマ「光る君へ」にちなんで開催されている「源氏物語」関連の企画展も見学し、日本が誇る古典文学作品を嵐山の自然とともに鑑賞した。
- 参加 10組12名

○「もしものための防災体験会」京都市市民防災センター見学（山科区主催）

- 月日 令和6年3月31日（日）
- 場所 京都市市民防災センター
- 内容 京都も、いつ災害に見舞われるかわからない時期に来ているとの意識をもとに、もしもの時に役立てられるよう地震・強風・火災避難・消火などの防災体験の機会を親子・寡婦に提供した。
- 参加 14組23名

③広報誌『POSITIVE』の発行

母子部会員相互の交流、情報の提供などを目的にニュースレター『POSITIVE』を4月・7月・10月・1月に発行（各1700部）。郵送で母子部会員に配布するとともに、関係者・機関に配布、配架の依頼を行った。

（3）学習会・居場所作り事業

○西京区学習支援会「ゆう」

- 月日 隔週金曜日（のべ39回開催）
- 場所 京都市交流促進まちづくりプラザ 多目的室
- 参加 のべ324名（子ども、ボランティアの指導者含む）
- ※情報系の元大学教授を講師にしたプログラミング講座も開催。

（4）法人広報

○会報『花ごよみ』の発行

連合会会員全体に向けての広報機関誌として、「花ごよみ」を寡婦部が主体になって編集発行し、会員及び関係機関等に配布した。（令和5年6月、1,800部発行）

4 各種研修会活動への参加

（1）近畿ブロック母子部長会議

近畿地区の母子寡婦福祉団体の母子部役員が一同に会し、現在の母子福祉の抱える課題、今後の展望などを話し合い、幅広い母子福祉活動について検討、活動することを目的に開催。

- 月日 令和5年8月6日（日）／令和6年1月7日（日）
- 場所 大阪市立愛光会館

（2）全国母子寡婦福祉研修大会

全国の母子寡婦福祉団体役員が一同に会し、現在の母子福祉の抱える課題、今後の展望

などを話し合い、幅広い母子福祉活動について検討、活動することを目的に開催。

月日 令和5年11月18日（土）～19日（日）

場所 長崎県アルカスSASEBO

（3）全国母子寡婦指導者研修会及び母子部長研修会

全国の母子寡婦福祉団体の指導者が、一同に会し、母子寡婦福祉団体のあり方や、会の運営、母子寡婦福祉について研鑽を深めることを目的に開催。

月日 令和6年3月9日（土）～10日（日）

場所 アワーズイン阪急（東京都）

5 他団体・行政からの支援や他団体事業との連携・参加

（1）医療法人創健会西村診療所社会奉仕活動事業（寄附行為）

平成17年度より毎年「ひとり親の健康支援のための無料人間ドック」を実施していたが、今年度は体調不良によるキャンセル2名を除く23名の母子・寡婦が受診した。

月日 令和5年4月9日（日）

場所 西村診療所（ホテルグランヴィア京都3階）

内容 人間ドック「カスタムF」コース

（2）京都キワニスクラブ「子ども料理教室」へのご招待

月日 令和5年4月15日（土）／8月26日（土）

場所 京の食文化ミュージアム・あじわい館

参加 16組31名／16組37名

（3）株式会社日本ケイテム様より来年度の新1年生へのランドセル7個のご寄付

月日 令和5年12月3日（日）

場所 ハートピア京都

※京都市ひとり親家庭母子寡婦福祉大会にて感謝状授与式

（4）洛和会ヘルスケアシステム様より、おとな用・子ども用自転車ヘルメット100個のご寄付

月日 令和5年12月3日（日）

場所 ハートピア京都

※京都市ひとり親家庭母子寡婦福祉大会にて感謝状授与式

（5）株式会社千總 着物寄贈式

月日 令和6年4月25日（木）

場所 株式会社千總本店

京都市への寄贈品：三歳・五歳お祝い着一式 各2点、七歳お祝い着一式 1点

（6）北山ふれあいセンターまつり

京都総合福祉協会との共同企画により、北山ふれあいセンター全域で開催。地域住民、地域各種団体との交流及び事業理解を深める目的で実施。参加者約500名。

月日 令和5年11月11日（土）

場所 北山ふれあいセンター

内容 飲食店経営の父子会員作成の軽食、理事の手づくり小物などを出展

(7) ウィングス京都「不安を抱える女性に寄り添った相談支援事業」に参画

公益財団法人京都市男女共同参画推進協会が企画・運営し、京都市が共催する当該事業において、「女性のための居場所 つながるスペース」にて、ひとり親家庭の交流・情報交換を目的として企画・運営に携わる。

○つながるスペース第1回「子どもと楽しく暮らす シングルマザーの相談カフェ」

月日 令和5年9月9日(土)
場所 ウィングス京都
申込 28名
参加 20名
協力 社会福祉法人宏量福祉会野菊荘、公益財団法人京都市ユースサービス協会

○つながるスペース第2回「出張 mama*cafe ひとり親女性のためのマネーセミナー」

月日 令和5年10月7日(土)
場所 ウィングス京都
申込 49名
参加 20名

※ゆめあす自立支援事業報告「mama*cafe」にて詳細報告

6 京都市から指定を受けて運営する施設(京都市指定管理者指定事業)

- (1) 京都市ひとり親家庭支援センターの管理・運営(別紙 事業報告・決算報告)
- (2) 京都市住吉児童館、葵児童館、岩倉南児童館の管理・運営 ※下鳥羽児童館は委託事業。(別紙 事業報告・会計決算報告)

7 京都市からの受託事業

- (1) 京都市ひとり親家庭支援センターにおける2事業(別紙・センター事業報告)
- (2) 着物・スーツ貸出事業

昭和63年以来、株式会社千總様より京都市へ晴れ着の寄付、また平成30年に京都南ロータリークラブ様より京都市へスーツの寄付があり、当連合会が事業委託を受け、母子及び寡婦家庭を対象に着物は冠婚葬祭・成人式・七五三等、スーツは就職活動・入学式・卒業式等に貸出事業を展開している。原則は福祉事務所経由で利用者が来所。着物の貸出料金は大人用5,000円、子ども用1,500円。スーツの貸出料金は無料で自費でのクリーニング後に返却としている。

・着物貸出件数

種類 年度	振袖 (袴含む)	留袖	友禅等	七五三・ 七歳	七五三・ 三歳	七五三・ 五歳	十三詣	合計
令和5年	15	0	4	6	1	1	2	29
令和4年	16	2	2	5	6	7	3	41
令和3年	23	2	8	6	3	9	0	51

・スーツ貸出し数

種類 年度	ブラック 7号	ブラック 9号	ブラック 11号	ブラック 13号	グレー 9号	ネイビー 9号	スーツ 合計	靴	鞆	付属品 合計
令和5年	0	2	2	0	0	2	6	2	4	6
令和4年	1	1	1	1	0	0	4	3	2	5
令和3年	0	1	0	0	3	0	4	1	1	2

(3) つどいの広場（京都市子育て支援活動いきいきセンター）「ほっこりはあと出町」

当施設は平成22年1月18日開設。乳幼児を持つ親とその子どもが気軽に集い、交流を図ると共に、育児相談などを行う場を提供し、地域の子育て支援活動を支援することにより、親の負担感の緩和を図り、安心して子育てができる環境の整備と充実を図ることを目的としている。令和5年度の来所数については、コロナ渦が落ち着いたこともあり、来館数の増加が見られた。イベントも増やし、年間延べ数は3600名規模となった。今年度も日本家屋の寛ぎ感を活かして、親子ともにリラックスできる環境作りに取り組んだ。同じ年代の親子さんが過ごせるよう年齢帯別の利用も実施。成長に合わせたあそびや絵本を提供するなどで充実した取組みができた。

今年度は枳形商店街協力による「ハロウィンパレード」を復活させるなど、地域との交流をより深めながら活動を進めていく計画である。

・令和5年度 来所者総数 3,637 (のべ人数)

保護者	計(人)	母親		父親		その他	
	1,818	1,539	159			120	
子ども	計(人)	0歳	1歳	2歳	3歳～ 就学前	小学生	その他
	1,819	434	784	280	251	47	23

・令和4年度 来所者総数 3,150 (のべ人数)

保護者	計(人)	母親		父親		その他	
	1,426	1,266	151			9	
子ども	計(人)	0歳	1歳	2歳	3歳～ 就学前	小学生	その他
	1,724	512	409	387	416	0	0

(4) 下鳥羽児童館の管理・運営

民設・民営の児童館として、平成22年度よりひとり親家庭福祉連合会傘下に入る。
(詳細は事業報告、会計決算報告にて報告)

8 会員状況

会員の高齢化および新規会員入会が伸びない問題については、全国の母子寡婦福祉団体共通の課題として、全母子協を中心に全国規模で有効な対策に向けての検討が続けられている。当団体においては、コロナ渦の影響で体調を崩された寡婦会員が多く、地域の会員による働きも行ったが減少がみられた。また、LINEの活用により、登録数は600を声、新規会員は16名の加入となった。会員獲得のための改善策として、次項の取り組みによって会員獲得推進を図る。

・会員数の推移

	寡婦	母子	父子	学区数
令和5年度 (2023年度)	199	280	8	25
	487			
令和4年度 (2022年度)	250	264	7	25
	521			

9 新規会員獲得に向けた取り組み重点課題

(1) 現役世代のひとり親新規会員の獲得

今年度は、ひとり親家庭のニーズに合わせて様々な活動を企画し活動内容をできるだけ多くの方に知っていただけるよう、LINE を利用しての小刻みにイベント告知、プレゼント企画を打ち出した。活動内容を見て新規会員に登録する流れが加速するよう、活動頻度、内容共に充実したものにするよう計画した。経済的に困窮している家庭にはフードパントリー、お弁当配布で緊急支援を行った。新規会員登録は16名となったが倍増を目指す。

(1) 入会申込み時の年会費処理の簡略化

現在、会費はゆうちょ振込に限定しているため、ネット時代にふさわしく利便性を上げる方法を検討中。取扱手数料がネックとなっている。

(2) 連合会ホームページの全面リニューアル

新システムでデザインを一新してホームページを構築。連合会のイメージアップ及び入会促進のためのページ構成とし、連合会活動内容の紹介・ひとり親家庭施策の説明、委託事業の紹介を中心に構成した。これまでにないモダンなデザインを導入した。

(3) 連合会パンフのリニューアル

法人紹介ツールとして内容を充実させるべく製作中 ※令和6年7月頃完成予定

(4) 企業・各団体への寄附要請、福祉活動連携への取り組み促進

ひとり親家庭への理解を深め、社会全体であたたかい支援を届けられるよう、各企業、各団体に対しての働きかけを深めた。今後は、ひとり親家庭福祉に取り組むNPOなどとネットワークを形成し、縦割りになりがちなこれまでの傾向を改め、時代にふさわしく横のつながりを相談者・利用者本位で構築する。

(5) 親子交流レクリエーションの企画強化

最も敷居が低く、会員獲得につながりやすい。ただし、一過性になる傾向がある。事前・事後の入会働きかけを工夫する。

(6) コンプライアンス強化を最優先課題として、「コンプライアンス規程」「コンプライアンス・マニュアル」の職員への周知と研修を通じて組織体制の強化を図る。

10 ご寄付による支援事業

(1) 王将フードサービス様ご提供 お弁当配布

月日 令和5年8月4日(金)／令和6年1月12日(金)、13日(土)

場所 ラクト山科ショッピングセンター、京都市交流促進・まちづくりプラザ

参加 50食／50食、30食

(2) フードパントリーの実施

個人K様より100,000円相当の食料品の提供を受け、政府備蓄米や地域・関連事業所からの提供品及び当社が購入した食料品を合わせて配付。

月日 令和5年12月23日(土)～25日(月)

場所 京都市ひとり親家庭支援センターゆめあす

参加 105組に配布

(3) 株式会社パナソニック様からフードパントリー用食品の支援

2022年に本社関連の企業様が連携し食品を集めていただいて以降、定期的に食品を中心に支援品を届けていただいている。今年度2回支援していただくことができた。

(4) 「学べる、楽しむ、もらえる 春フェス」開催

株式会社わかさ生活様からの寄付品を連合会会員へ配付する機会として実施。わかさ生活社員4名が出向いてくださり、目の健康を考える「メノコト元気教室」と目の体操を実施。同社キャラクターのブルブルくんも登場し、写真撮影などに応じてもらった。また、事前申込みした希望者には「Total Beauty Salon Venere」によるハンドマッサージも受けていただいた。あわせて「mirai 工房」による手作り焼き菓子セットを1人1袋ずつお渡しした。最後に参加者全員へ、わかさ生活の美容と健康に関する製品3種セットを社員より説明いただきながら配付した。

月日 令和6年3月10日(日)

場所 京都市ひとり親家庭支援センターゆめあす

参加 20組40人

1.1 ひとり親家庭のためのキャリアコンサルティング

(1) ひとり親家庭の方と寡婦を対象に、国家資格を持つキャリアコンサルタントが、ひとり親のキャリアに応じたライフプランや経験・職業適性に応じた仕事や子どもが自立した後のライフプラン等について、親身に相談を受ける機会として企画。各日2名の相談枠を設定した。令和6年度から一回3枠に増枠している。

月日 令和5年10月スタート～毎月第3日曜開催

場所 京都市ひとり親家庭支援センターゆめあす

参加 一回2枠(1回50分) 6ヶ月間 延べ12名 (令和5年度)

カウンセラー講師 女性1名

令和5年（2023）連合会 会員活動一覧表

	期日	時間	事業名	内容	場所	参加費	募集	申込	参加	
招待・寄付	4月9日(日)	8:00～	「無料人間ドック」ご招待	医療法人創健会西村診療所からのご厚意により実施。会員の健康管理を促す	西村診療所（ホテルグランヴィア3階）				25名	
招待・寄付	4月15日(土)	10:30～	「子ども料理教室」ご招待	京都キワニスクラブより	京の食文化ミュージアム・あじわい館				16組31名	
学習会	5月～7月		プログラミング講座（第一回/4回連続）	ひとり親家庭の親、中学生以上の子を対象とした初心者向け	ゆめあす				4名	大人3、子ども1
レクレーション等	6月11日(日)	12:00～13:30	ランチ交流会「母子家庭会員の交流と子育て情報交換会」	食事をしながら、同じ世代の子をもつ母同士、交流の場として楽しむことができた	鎌倉パスタ 京都ヨドバシ店				6名	
レクレーション等	6月17日(土)	11:30～14:00	布用クレヨンでエコバック作り&おばあちゃんの手作りお弁当	食料支援と簡単な工作のワークショップを兼ねて交流会をおこなう	山科青少年活動センター		15組30名		20名	大人9名 子ども11名
(西京支部主催)	7月～8月		プログラミング講座 初級編	情報系の元大学教授を講師に開催。義務教育へのプログラミング学習導入に伴い、学習機会を増やす	京都市交流促進・まちづくりプラザ（西京区）					7/21、7/28、8/4、8/18、8/25
レクレーション等	7月23日(日)	10:30～14:00	おやこで夏を楽しもう！ボーリングとバーベキュー	例年の日帰りバス旅行の代替として企画。ボーリングも幼児向けのものがあり、幅広い世代が参加	上賀茂グランピングパーク（北区）	大人3000円 中	15組30名	11組	10組25名	
食糧支援	8月4日(金)		「王将フードサービス」ご提供お弁当配布	王将フードサービス様のご厚意により実施	ラクト山科ショッピングセンター（山科区）		50食		50食	
学習会	8月～9月		プログラミング講座（第二回/5回連続）	ひとり親家庭の親、中学生以上の子を対象とした初心者向け	ゆめあす				3名	
(山科支部主催)	8月6日(日)	10:30～12:30	はにわ作り体験	夏休みの学習会として地元の郷土史家より、はにわの歴史を学び、自作のはにわを持ち帰る	山科青少年活動センター				6組13名	
招待・寄付	8月26日(土)	10:30～	「子ども料理教室」ご招待	京都キワニスクラブより	京の食文化ミュージアム・あじわい館				16組37名	
共催事業	9月9日(土)		「子どもと楽しく暮らすシングルマザーの相談カフェ」	ウィングス京都との共催、第1回つながるスペース参加。	ウィングス京都				20名	
(西京支部主催)	9月～10月		プログラミング講座 中級編	情報系の元大学教授を講師に開催。義務教育へのプログラミング学習導入に伴い、学習機会を増やす	京都市交流促進・まちづくりプラザ（西京区）				のべ182名	9/15、9/22、9/29、10/6、10/13
自立支援	10月第3日曜	10:10～11:10、11:10～	ひとり親家庭のためのキャリアコンサルティング	国家資格を持つキャリアコンサルタントが、ひとり親の悩みに親身になって一緒に考える	ゆめあす				2名	
(山科支部主催)	10月29日(日)	11:00～	いも掘り体験会		山科区大塚 個人の畑	200円	20名		12名	
共催事業	11月11日(土)		北山ふれあいセンターまつり	社会福祉法人京都総合福祉協会との共催。葵児童館がステージ等で協力。父子会員（飲食店経営）が調理した軽食や、役員等が制作した手作り品を販売	北山ふれあいセンター					
(中京支部主催)	11月12日(日)	14:00～16:00	柿狩り		千弥農園（西京区）	500円	10組		14名	
招待・寄付	12月3日(日)		「ランドセル」ご寄付	株式会社日本ケイテムより					7名	

	期日	時間	事業名	内容	場所	参加費	募集	申込	参加	
招待・寄付	12月3日(日)		「自転車用ヘルメット」ご寄付	洛和会ヘルスケアシステムより					100個	
レクリエーション等	12月24日(日)	13:30～15:30	親子で楽しむクリスマス会	クリスマスソングの演奏や大学生によるパネルシアター、ビンゴゲーム等を実施。サンタクロースとの写真撮影もおこなった	ゆめあす				12組27名	
食糧支援	12月23日(土)	11:00～17:00	フードパントリー	当会が購入した食品と政府備蓄米、地域や関連事業所から無償提供の食品を合わせて配付	ゆめあす				105組	
食糧支援	12月24日(日)	11:00～17:00	フードパントリー		ゆめあす					
食糧支援	12月25日(月)	11:00～17:00	フードパントリー		ゆめあす					
食糧支援	1月12日(金)		「王将フードサービス」ご提供お弁当配布		京都市交流促進・まちづくりプラザ（西京区）		50食		50食	
食糧支援	1月13日(土)		「王将フードサービス」ご提供お弁当配布		ラクト山科ショッピングセンター（山科区）		30食		30食	
招待・寄付	3月10日(日)	11:00～13:00	「わかさ生活」製品ご寄付	株式会社わかさ生活の製品4種類の提供と、同社社員による目の健康を考える「メノコト教室」、同社キャラクター「ブルブルくん」着ぐるみとの撮影会を同時開催。	ゆめあす				20組40名	
(西京支部主催)	隔週金曜日	18:30～20:00	学習会「ゆう」		京都市交流促進・まちづくりプラザ（西京区）					
レクリエーション等	3月17日(日)	10:00～12:00	嵯峨嵐山文華館「百人一首の歴史や魅力を知ろう！」	百人一首について、その歴史や魅力を知り、京都にちなんだ芸術・文化について学ぶ	嵯峨嵐山文華館（右京区）	無料	15組	13組	10組12名	
レクリエーション等	3月31日(日)	10:00～13:00	「もしも！のための防災体験会」京都市市民防災センター見学	いつ災害に見舞われるかわからないとの意識のもとに、地震・強風・火災避難・消火などの防災体験を親子で参加。	京都市市民防災センター（南区）	無料	10組	16組	14組23名	